



**KOTOMO基金**

**第1回活動報告会**

子どもたちの孤立を防ぐ支援の現場

**2021年11月6日(土)13:30-16:00**

**山陽新聞社さん太ホール**

主催： 山陽新聞社、NPO 法人岡山 NPO センター

## ごあいさつ

### 【21世紀なのに、子どもが苦しむ社会を少しでも変えたい】

本日は KOTOMO 基金の活動報告会にご参加いただき、ありがとうございます。こうして皆さまに取り組みのご共有をさせていただき、今後について考える機会を持たせていただけることに感謝いたします。

僕が子どもの頃には夢の 21 世紀を描いた絵本や子ども向け雑誌では科学が発展し、世の中は平和になっていました。ところが、ドローンが飛びロボットが掃除しリアモーターカーが走るようなテクノロジー発展の反対側で、虐待等の悲しい事件は続き、相対的貧困率など困難を抱える子どもの状況は厳しい状況が続いています。特にコロナでの経済的影響は格差を広げ、孤立し追いつめられる人の生活に影響しています。社会のアンバランスさを感じずにはられません。

私たち NPO は迅速に行動すること、新たな支援チャレンジすることができる点が強い部分です。本日は皆さまに支えていただいている「KOTOMO 基金」のこの間の成果をお伝えすると共に、日々、変化する支援ニーズに対して、民間ならではの柔軟さを発揮して、さらにどんな支援をすべきかを話し合える機会になればと思います。限られた時間ではございますが、それぞれの活動やそこで出会った子どもの状況に耳を傾けていただき、一緒に子どもたちを誰ひとり取り残さない地域づくりについて考えさせていただければ幸いです。

石原達也（NPO 法人岡山 NPO センター代表理事／KOTOMO 基金事務局）

## プログラム

### 第一部 クロストーク

「子どもを取り巻く不条理をどう無くすか」

### 第二部 配分団体報告

「おかやまの子どもたちに起きていること」

### 第三部 シンポジウム

「子どもたちの孤立や困難を解消するために力をあわせて何ができるか」

## お知らせ

KOTOMO 基金各種 SNS 活性化中！ 本日の報告会のご感想を、  
「#ことも基金」「#KOTOMO 基金」「#kotomofund」でぜひ投稿ください。



## 登壇者のご紹介

むらた さやか

**村田 早耶香さん** <https://www.kamonohashi-project.net/>

認定 NPO 法人かもものはしプロジェクト 共同創業者

大学在学中の 2001 年、東南アジア訪問時に子どもが売られる問題の深刻さを知り、2002 年二十歳の時に仲間と共にかものはしプロジェクトを創業。10 歳未満の子どもまでもが被害にあっていたカンボジアで、子どもが売られる問題を防止するため、職業訓練と雇用により家庭の収入を向上させる雑貨工房を運営。また、加害者を取り締まるための警察訓練の支援も行う。現在はインドにも活動を広げ、インドの NGO と共に、被害にあった方達が人生を取り戻す支援と子どもが売られない社会の仕組み作りの支援をしている。

2006 年日経 WOMAN 主催「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2006」リーダーシップ

部門を史上最年少で受賞。2011 年 社団法人日本看護協会とジョンソン・エンド・ジョンソン グループ日本法人各社主催、ヘルシー・ソサエティー賞を受賞し、天皇陛下（当時は皇太子殿下）と謁見。2012 年 全国日本商工会議所女性会連合会主催 第 11 回女性起業家大賞優秀賞受賞。2018 年日経 WOMAN 主催「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2019」世界の子供を守る賞を受賞。ウーマン・オブ・ザ・イヤー2 回目の受賞となった。

<主な著作> いくつもの壁にぶつかりながら ～19 歳児童買春撲滅への挑戦～ PHP 研究所 2009 年出版



なかやま りょう

**中山 遼さん**

<https://npoakane.or.jp/>

NPO 法人あかね 代表理事

小学校時代に 5 年間の不登校、高校時代に 4 ヶ月の不登校を経験し、自らの経験を生かした不登校支援をめざし、岡山市の不登校・引きこもりの子どもや若者そしてその家族の居場所支援、学習支援、訪問支援を行う NPO 法人あかねの代表理事、岡山市スクールカウンセラー、総社市引きこもり支援検討委員を務める。

き な な

**紀 奈那さん**

<http://kswctsubasa.wixsite.com/tsubasa>

一般社団法人子どもソーシャルワークセンターつばさ 代表理事

香川県高松市出身。川崎医療福祉大学に進学し、倉敷トワイライトホームという夜の子どもの居場所づくりに携わる。2016 年、大学在学中に法人化。現在はアウトリーチ型の居場所事業なども実施しており、地域で子どもを支えたいという想いで活動している。

むらもと かずたか

**村本 和孝さん**

<http://futoukou-okayama.com/>

NPO 法人志塾フリースクール岡山 理事長

1966 年東京都・品川区生まれ・東海大学卒、一般企業を経て、2001 年より若者支援に従事。2013 年秋「脳幹出血」発症にて緊急入院、退院後、社会復帰リハビリを経て、社会復帰。尼崎市にて生活保護世帯を中心にアウトリーチ支援、京都市・綾部市・大阪府・米子市のアウトリーチ支援等にも係わる。2019 年 6 月 NPO 法人志塾フリースクール岡山・理事長就任、岡山県青少年健全育成促進アドバイザー等。三人の娘の父でもある。



## 登壇者のご紹介

いのうえ まさき  
**井上 正貴さん**

<http://www.facebook.com/minnanouchi.haruhouse>

**ハルハウス 代表**

岡山県倉敷市生まれ。生活に困難を抱える中学生を対象とした居場所の支援員を務めていた際に、水島こども食堂ミソラ♪の活動を始める。コロナ禍の影響で食事を提供できなくなったことを踏まえ、活動内容の転換を図る。2020年末から「ハルハウス」の活動をスタート。食料支援をきっかけに相談や交流の機会を提供している。

わだ としひろ  
**和田 俊博さん**

<http://okanetsu.co.jp/>

**オカネツ工業株式会社 代表取締役 社長**

1955年岡山県生まれ。岡山県立操山高校、芝浦工業大学 卒業後、1977年にオカネツ工業に入社。2005年にオカネツ工業初のプロパー社員から社長に就任。就任後、すぐに取り組んだのが社員食堂。「食べる事は活力、お昼を温かいご飯を食べさせてあげたい。」という親心から誕生した「オカネツ食堂」は今も社員の80%が利用する人気の食堂に。「夢ある挑戦」をモットーに創業以来、携わってきた農業機械を作る技術を応用し現在では、未知なるものを創り出している。

ゆのき さちこ  
**柚木 幸子さん**

<https://okayamabs.org/>

**NPO法人オカヤマビューティサミット 代表理事**

女性が笑顔に。子どもが笑顔に。社会が笑顔に。をモットーに子どもの貧困問題解決を目的に「ひとり親家庭・困窮家庭支援」をしています。2021年開設した未来へつながる居場所「結」では24時間相談受付の為にスタッフが常駐し運営している。またエステサロン運営もしており、お客様がキレイになりたいという気持ちの施術代金が支援活動につながる仕組みもしている。

にしい ようこ  
**西井 葉子さん**

<https://shelter-momo.org/top.html>

**NPO法人子どもシェルターモモ 事務局長**

虐待や様々な理由で家庭で生活が出来ない概ね15~20歳の子どものセーフティーネットとして「子どもシェルター」や「自立援助ホーム」を運営し、子どもの自立支援を行う「認定NPO法人子どもシェルターモモ」へ平成24年に事務局として入職。社会的養護を経験した子ども・若者を支援する「アフターケア事業」にも携わる。

みよし ゆうや  
**三好 祐也さん**

<https://www.pokesapo.com/>

**NPO法人ポケットサポート 代表理事**

2015年NPO法人ポケットサポート設立(2018年認定取得)5歳で慢性のネフローゼ症候群を発症し岡山大学病院に入院、義務教育のほとんどを病院で過ごす。大学生の頃に同大学病院にある母校の院内学級にて学習支援のボランティアをはじめ、大学院に進み病気の子どものための教育支援について研究。自身の経験を通じて病弱児の学習や復学などの自立支援と環境理解の普及啓発のため、治療も継続しながら多方面での活動を行う。

ぼうず みつえ  
**ボウズ 満恵さん**

[https://peraichi.com/landing\\_pages/view/harehaha](https://peraichi.com/landing_pages/view/harehaha)

**NPO法人ハレハハ 代表理事**

2018年西日本豪雨災害発災時に行った被災地親子支援をきっかけに子育て支援活動を開始する。NPO法人ハレハハを設立し、オンライン学習支援、子どもが主体の防災講座などを開催している。子どもが育つ「環境」をキーワードのイベント・勉強会・座談会などさまざまな活動を展開中。